



平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月9日

上場取引所 東 福

上場会社名 トラストパーク株式会社
コード番号 3235 URL <http://www.trustpark.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 靖司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 矢羽田 弘

TEL 092-437-8944

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	7,483	27.4	577	52.1	469	66.3	251	112.8
24年6月期第3四半期	5,874	2.3	379	△27.6	282	△39.7	118	△46.0

(注) 包括利益 25年6月期第3四半期 252百万円 (114.2%) 24年6月期第3四半期 117百万円 (△46.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	5,328.54	5,241.61
24年6月期第3四半期	2,656.70	2,546.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第3四半期	10,654	1,004	9.4	21,368.78
24年6月期	8,084	819	10.1	17,903.04

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 1,004百万円 24年6月期 819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	820.00	—	820.00	1,640.00
25年6月期	—	820.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	820.00	1,640.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	16.4	750	23.9	600	24.4	320	47.7	6,988.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当するものであります。
詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期3Q	51,320 株	24年6月期	45,790 株
② 期末自己株式数	25年6月期3Q	4,330 株	24年6月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期3Q	47,271 株	24年6月期3Q	44,545 株

(注) 期末自己株式数は、株式付与ESOP信託が所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、年末にはいわゆるアベノミクス効果と日銀の金融緩和の影響等もあり円安・株高が進む状況となり、輸出企業を中心に業績の改善が見込まれるとともに、個人消費も回復に向かってはおりますが、依然先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは主力の駐車場事業において、引き続き新規駐車場の開発に注力、不動産等事業におきましては、新築マンションの販売に注力いたしました。

以上の結果、売上高は7,483,938千円（前年同期比27.4%増）、営業利益577,588千円（前年同期比52.1%増）、経常利益469,365千円（前年同期比66.3%増）、四半期純利益は251,885千円（前年同期比112.8%増）となりました。

セグメントの業績については、以下のとおりであります。

①駐車場事業

建築着工に伴う駐車場賃貸借契約の終了が増加しつつある状況の中、営業員を増員し、新規駐車場の開発に注力するとともに、既存駐車場の収益力向上のため料金改定、カード会員獲得、地代交渉、低採算駐車場の閉鎖等を積極的に行ってまいりました。その一方、営業人員を増強させたことにより人件費を中心とする経費は増加しました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の駐車場数は639ヶ所（前年同期より9ヶ所増）、車室数は24,253車室（前年同期より518車室増）となっております。

以上の結果、売上高は4,333,203千円（前年同期比3.3%増）、営業利益213,406千円（前年同期比18.9%減）となりました。

②不動産等事業

「トラスト玉名カルディオ（熊本県玉名市）」の残3戸の引渡しを行ったことに加え、平成25年3月に「トラストネクス木町ウイングレジデンス（北九州市小倉北区）」、「トラスト大津ネクサージュ（熊本県菊池郡）」の新築マンション2棟が竣工、合わせて128戸の引渡しを行いました。

なお、第4四半期連結会計期間には「トラスト八女カルディオ（福岡県八女市）」の竣工、引渡しを計画しております。

また、不動産特定共同事業法に基づく不動産（駐車場）小口化商品の第1号商品である「トラストパートナーズ中呉服町」の販売を実施、平成24年11月に完売となりました。

以上の結果、売上高3,074,472千円（前年同期比89.0%増）、営業利益375,677千円（前年同期比137.8%増）となりました。

③その他事業

その他事業につきましては、平成23年7月より開始したJR博多駅前における大型ビジョンの運営及び平成23年8月より本格参入した警備事業において順調に契約を確保してまいりました。その結果、売上高76,262千円（前年同期比47.4%増）、営業損失16,089千円（前年同期は43,553千円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して2,738,796千円増加し、6,107,575千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,991,891千円、販売用不動産の増加150,292千円、仕掛販売用不動産の増加487,440千円等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比較して169,409千円減少し、4,546,739千円となりました。これは主に、保有目的の変更等により土地が105,204千円減少、償却によりのれんが41,676千円減少等によるものであります。

この結果、総資産は10,654,314千円となり、前連結会計年度に比べ2,569,387千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して3,016,054千円増加し、5,821,312千円となりました。これは主に、買掛金の増加1,102,491千円、短期借入金の増加539,000千円、1年内返済予定の長期借入金の増加1,093,725千円、未払法人税等の支払47,833千円等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比較して631,006千円減少し、3,828,882千円となりました。これは主に、長期借入金の減少591,343千円、リース債務の減少42,966千円等によるものであります。

この結果、負債合計は9,650,195千円となり、前連結会計年度に比べ、2,385,048千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して184,338千円増加し、1,004,119千円となりました。これは主に、資本金及び資本準備金の増加153,622千円、自己株式の取得145,365千円、配当金の支払76,079千円、四半期純利益の計上251,885千円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は9.4%（前連結会計年度は10.1%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年6月期の通期の業績予想につきましては、平成24年8月9日に公表いたしました「平成24年6月期 決算短信」における連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,098,026	3,089,918
受取手形及び売掛金	118,002	137,030
有価証券	2,037	2,039
販売用不動産	285,549	435,841
仕掛販売用不動産	1,479,071	1,966,512
原材料及び貯蔵品	18,473	14,152
その他	369,287	463,881
貸倒引当金	△1,669	△1,801
流動資産合計	3,368,778	6,107,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,029,052	1,005,689
土地	2,478,292	2,373,087
その他（純額）	513,375	482,538
有形固定資産合計	4,020,720	3,861,316
無形固定資産		
のれん	254,249	212,573
その他	61,347	69,901
無形固定資産合計	315,597	282,475
投資その他の資産		
その他	380,877	403,994
貸倒引当金	△1,047	△1,047
投資その他の資産合計	379,830	402,947
固定資産合計	4,716,148	4,546,739
資産合計	8,084,927	10,654,314

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	138,707	1,241,198
短期借入金	850,000	1,389,000
1年内返済予定の長期借入金	875,834	1,969,559
未払法人税等	205,622	157,789
賞与引当金	—	12,105
役員賞与引当金	—	2,175
ポイント引当金	23,781	20,794
資産除去債務	3,670	3,605
その他	707,642	1,025,086
流動負債合計	2,805,258	5,821,312
固定負債		
長期借入金	3,869,653	3,278,310
退職給付引当金	19,114	26,640
資産除去債務	22,100	24,698
その他	549,020	499,234
固定負債合計	4,459,888	3,828,882
負債合計	7,265,147	9,650,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	341,750	418,561
資本剰余金	112,250	189,061
利益剰余金	366,221	542,027
自己株式	—	△145,365
株主資本合計	820,221	1,004,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△440	△164
その他の包括利益累計額合計	△440	△164
純資産合計	819,780	1,004,119
負債純資産合計	8,084,927	10,654,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
売上高	5,874,888	7,483,938
売上原価	4,555,517	5,680,265
売上総利益	1,319,370	1,803,672
販売費及び一般管理費	939,549	1,226,083
営業利益	379,821	577,588
営業外収益		
受取利息	530	372
受取配当金	241	92
投資有価証券売却益	—	4,076
その他	9,919	10,062
営業外収益合計	10,692	14,603
営業外費用		
支払利息	82,121	104,461
投資有価証券売却損	—	162
その他	26,161	18,203
営業外費用合計	108,283	122,827
経常利益	282,230	469,365
特別利益		
固定資産売却益	391	2,410
特別利益合計	391	2,410
特別損失		
減損損失	19,122	11,254
その他	—	1,128
特別損失合計	19,122	12,382
税金等調整前四半期純利益	263,499	459,392
法人税、住民税及び事業税	141,523	208,394
法人税等調整額	3,632	△886
法人税等合計	145,156	207,507
少数株主損益調整前四半期純利益	118,343	251,885
四半期純利益	118,343	251,885

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	118,343	251,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△633	276
その他の包括利益合計	△633	276
四半期包括利益	117,709	252,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,709	252,161
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	4,196,573	1,626,564	5,823,138	51,749	5,874,888	—	5,874,888
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,067	—	1,067	14,552	15,620	(15,620)	—
計	4,197,641	1,626,564	5,824,206	66,301	5,890,508	(15,620)	5,874,888
セグメント利益 又は損失(△)	263,270	158,004	421,275	△43,553	377,721	2,100	379,821

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業を含んでおります。なお、第1四半期連結累計期間から当社において広告事業を新たに開始するとともに警備事業を営む非連結子会社であったタウンパトロール株式会社を新たに連結の範囲に含めたため、「その他」の区分に広告事業及び警備事業を含めております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去18,600千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△16,500千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては19,122千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	4,333,203	3,074,472	7,407,676	76,262	7,483,938	—	7,483,938
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,652	2,250	6,902	25,646	32,549	(32,549)	—
計	4,337,856	3,076,722	7,414,578	101,908	7,516,487	(32,549)	7,483,938
セグメント利益 又は損失(△)	213,406	375,677	589,083	△16,089	572,993	4,595	577,588

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去18,900千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△20,208千円及び棚卸資産等の調整額5,903千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては11,254千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(1) 新株の発行

当社は、平成24年9月6日を払込期日とする一般募集による新株式発行4,000株を実施したことにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ61,560千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間において新株予約権の行使に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ15,251千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が418,561千円、資本剰余金が189,061千円となっております。

(2) 自己株式の取得

当社は、平成24年12月18日開催の取締役会における自己株式取得決議に基づき、自己株式の取得を実施し、自己株式が76,275千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間において株式付与E S O P信託契約に基づき自己株式の取得を行っており、自己株式が69,090千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が145,365千円となっております。